

平成 26 年 10 月 11 日、12 日に神戸市で開催された全国公立大学学生大会に参加してきました。この学生大会の中心は、東日本大震災がきっかけで設立された公立大学学生ネットワークです。学生・教員・職員が協働することでお互いの強みを生かし、経験や知恵を共有して地域に還元したり、同じ想いをを持った仲間と繋がることで継続的な活動を促進したりしています。この二日間で、「大学・地域における学生・教員・職員の理想的な協働を考える」を大きなテーマとし、地域貢献活動に関するポスターセッションと、大会テーマをもとにワークショップを行いました。



ポスターセッションでは、自分たちが行った地域貢献活動を発表しました。地域での熱中症予防を呼びかける寸劇やデイサービスの利用者さんへのハンドマッサージなど、現在も活動中です。

ワークショップでは、学生・教員・職員の理想的な協働を考えることを目的として、グループで地域貢献のアクションプランを考えました。それぞれ経験してきたことが違うため、経験や活動をメンバーで共有し、白熱した議論を行いました。他グループからのアドバイスを取り入れ、より具体的で実現できるプランを作成しました。



報告会を大学祭（11月1日）で行い、地域の方々に聞いていただきました。

学生大会を通して、大学の可能性を感じました。学生と教職員が持つ発想力と行動力を合わせれば、大学の可能性は無限大に広がるはずです。この学生大会では地域が抱えている色々な問題を総合的に見て、どの地域でも実現可能なアクションプランを計画することができました。地域が抱える問題は様々であり、どのように連携してアプローチしていくのか考えるのは大変でしたが、とても楽しかったです。学生大会終了後も他大学と繋がりを持つことができたので、今後に生かせるようにしたいと思います。〈災害看護サークル長〉